

1 観光振興対策

(1) 米子市観光協会事業活動に対する助成

米子市の観光と特産品の振興を図るため、米子市観光協会の事業活動への助成を行うとともに、その実施について協力した。

ア 観光客誘致宣伝事業

(ア) 米子市皆生温泉観光宣伝隊の派遣

期 日 9月19日～21日

派遣先及び内容 中京地区 信用金庫13社を訪問し、皆生温泉への送客を依頼した。

期 日 12月20日・21日

派遣先及び内容 大阪 旅行業者及び新聞社を訪問し、皆生温泉、大山、境港、お笑いバスなどをPRした。

(イ) 吉本興業タイアップ事業

a タレントと行く米子の旅（バス旅行）の実施（関西地区）

期 日 1月19日～3月5日の間 7日間運行 参加者80人（皆生温泉宿泊）

b 大助・花子の健康ウォーキング大会の実施

期 日 9月30日 参加者1,606人（山陰両県以外1,178人）

(ウ) 皆生温泉旅館組合、山陰中央リゾート協議会、米子空港利用促進懇話会との共催宣伝事業

首都圏旅行業者と旅行商品造成（主に湯～らんバスを利用した商品）の企画会議を開催。

時 期 4月及び2月

(エ) 関西地区特別宣伝事業

JRA京都競馬場内において中海ふるさと物産振興会と共同で観光と物産の宣伝を行った。

期 日 7月1・2日

イ 観光情報説明会、イベント、物産展への参加

(ア) 鳥取県情報説明会

期 日 7月13日 場 所 鳥取県大阪事務所交流室

期 日 11月17日 場 所 ラマダホテル大阪

内 容 マスコミ関係者や旅行業者に米子市、湯～らんバス等の説明。

(イ) 山陰観光素材説明会

期 日 2月6日 場 所 名古屋東急ホテル

内 容 旅行業者に山陰の観光地、観光施設、宿泊地、新観光メニュー等の紹介。

(ウ) さんさん山陰ふれあいフェスタ

期 日 11月2日～5日 場 所 中部国際空港

内 容 ステージ上にて各種芸能披露、クイズによる山陰のPR。トリピー、ネギ太、鬼太郎等キャラクターとの写真撮影。観光案内、特産品販売ブースの開設。

(エ) 観光物産展「海の市・山の市2006真庭」

期 日 9月24日 場 所 蒜山高原

内 容 米子市の観光ブースを設置。

ウ 情報発信事業

(ア) ホームページによる情報発信

情報発信能力を強化するためホームページを全面改訂し、10月1日から運用開始した。
新しいホームページ「よなごがいーな」

(イ) 報道機関を利用した観光宣伝

- a テレビ・ラジオ番組に出演し、皆生温泉や各種イベントの紹介を行った。
- b ラジオスポットによる広報や、雑誌・新聞への記事掲載を行った。

(ウ) 旅行業者発行パンフレットへの情報掲載

- a JTB「皆生温泉」・「山陰」・「山陽・山陰・萩・四国」
- b 日本旅行「鳥取・島根」
- c ビッグホリデー「四国・山陰・山陽・関西」

エ 各種イベントの開催

観光客誘致と地域活性化を図るため、イベントの実施又は開催協力を行った。

- (ア) 米子桜まつりを開催 期 間 4月1日～4月12日
- (イ) 皆生温泉海水浴場を開設 期 間 7月8日～8月20日
- (ウ) 全日本トライアスロン皆生大会を開催 期 日 7月16日
- (エ) 加茂川まつりの開催に協力 期 日 8月23日
- (オ) 市民大茶会を開催 期 日 10月22日
- (カ) 皆生温泉ちびっ子夏まつりを開催 期 間 8月3日～8月5日

オ 観光商品・イベント造成事業

(ア) 民話とジゲの味と加茂川・中海遊覧」を楽しむ会の開催

開催期間 4月1日～5月31日の間の土曜日・日曜日

(イ) 「地酒マイボトル」づくり体験商品の造成及び旅行業者への紹介

(ウ) 米子の民話集の作成

280冊販売 宣伝用として約300冊配布

(エ) 皆生温泉と米子市街地を結ぶ特典付お得カードの発行 1,000部

(オ) 「皆生温泉入浴剤」の作成

500箱販売 宣伝用として約200箱配布

(カ) HAPPYレンタカーモニターキャンペーンの実施

実施機関 3月1日～3月31日

(キ) 「エコツーリズムサミットイン皆生温泉」の開催(3月11日)に協力

(ク) 「湯～らんバス」の共同運行

皆生温泉旅館組合、米子空港利用促進懇話会と、中海周辺(境港～松江～皆生温泉)を巡る「湯～らんバス」を運行した。

運行期間 10月1日～11月30日の間 36日運行

カ 地域活性化対策事業

(ア) 米子下町観光ガイド

新コースの設定 米子の民話「弁慶岩と米子城の妖怪コース」

ガイド依頼 129件 1,865人(平成18年1月～12月)

(イ) 観光タクシーの運行

キ 指導育成・研修事業

(ア) 優良従業員の表彰

期 日 5月19日 20年表彰 21人 ・ 10年表彰 42人

(イ) 観光協会員従業員研修

期 日 11月9日・10日 参加者 62人

(ウ) 米子下町観光ガイドの研修

期 日 9月2日・3日 参加者 8人

内 容 岩国観光ガイドとの意見交換会、ガイドコースの案内等

(2) 観光パンフレット等の作成

観光パンフレットを増刷し、観光宣伝・観光案内に活用した。また、外国人観光客に対応するため、英語版につづき、中国語版・韓国語版を作成した。

(3) 観光案内業務

米子駅構内に米子市観光案内所を設置し、観光案内業務を行った。

◇年間利用状況

宿泊案内	観光案内	交通案内	地理案内	その他	合計
1,476件	6,307件	4,766件	1,811件	2,401件	16,761件

(4) コンベンションの誘致

本市へのコンベンション誘致を促進するため、財団法人とっとりコンベンションビューローに対し、職員配置及び運営費、大会開催支援補助金等の交付を行い、その活動を積極的に支援するとともにその活用を図った。

(大会開催支援補助金交付実績)

(単位：人・千円)

大会・会議の名称	開催期日	参加規模実績 (延宿泊者数)	交付額 (米子市負担額)
第47回全国労災病院臨床検査学会	5月18日	72 (131)	100
オール山陰ダンス競技会	5月21日	1,436 (257)	100
第32回日本耳鼻咽喉学会中国地方本部	6月4日	178 (126)	50
第85回日本消火器病学会中国支部例会	6月10日・11日	474 (222)	100
第19回河童サミット	6月11日・12日	129 (214)	100
第44回日本手術看護学会中国地区	6月17日・18日	180 (108)	50
第15回日本定位放射線治療学会	7月21日・22日	233 (304)	300
ゼオライトおよびマイクロポーラス結晶に関する国際シンポジウム	7月30日～8月2日	450 (1,070)	1,500

大会・会議の名称	開催期日	参加規模実績 (延宿泊者数)	交付額 (米子市負担額)
全農林労働組合中国四国地方本部 第21回定期大会	8月23日・24日	340 (407)	200
第20回中国・四国ストーリーマハリハビリテーション 研究会	8月26日	241 (112)	50
平成18年度氷温研究全国大会	9月14日	135 (110)	100
日本精神科病院協会学術研修会 栄養士部門	9月21日・22日	163 (220)	100
第22回放射線技師総合学術大会・ 第3回日韓台合同学術大会	10月6日～9日	2,070 (4,140)	1,500
日本人類遺伝学会第51回大会・ 小児遺伝学会第29回大会	10月17日～21日	701 (2,005)	2,000
日本芝草学会 2006年度秋季(鳥取)大会	10月29日～11月1日	264 (318)	300
第52回日本宇宙航空環境医学会大会	11月9日～11日	158 (259)	200
第112回西日本整形・災害外科学会	11月18日・19日	365 (650)	250
第34回日本頭痛学会総会	11月24日・25日	503 (815)	500
第50回中国四国合同産業衛生学会	11月25日・26日	283 (201)	100
第28回肝汁酸研究会	11月25日	65 (109)	100
IEEE ISPACS(信号処理と通信システムに関する 国際シンポジウム)	12月12日～15日	244 (669)	1,000
合 計	21件	8,684 (12,447)	8,700

(5) 日本観光協会、山陰観光連盟、鳥取県観光連盟、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会等の観光関連団体との連携を密にし、本市観光振興を図った。

(6) 特産品、観光土産品振興対策

特産品パンフレット「米子ええもん噺」の作製及び配布に協力し特産品の販路拡大を図った。

(7) 郷土芸能の保存、育成

米子がいな太鼓、米子がいな万灯の保存、育成を図った。

(8) 大山の美化、遭難防止活動等への協力

大山国立公園協会、大山の美化を推進する会、大山遭難防止協会等を通じて、大山の美化、自然保護等と遭難防止活動に協力した。

(9) 温泉地にぎわい創出事業

ア 観光宣伝事業の推進

米子市観光協会等と連携し、首都圏、中京、京阪神、山陽方面での観光宣伝事業を行った。

イ 将来ビジョンの策定

スイス在住で日本各地で観光地再生を手がけた方を戦略アドバイザーに迎え、皆生温泉のイメージアップと活性化のためのビジョン策定を進めた。

ウ 健康保養温泉地づくり事業の推進

皆生温泉を健康保養温泉地として全国に売り出すため、JTB旅館ホテル連盟の事業を活用し、脂肪燃焼、エステ、健康食の3つのソフトの開発を進めた。

「皆生温泉ホットソルトスプリング・ウェルネス事業」

(ア) 脂肪燃焼ソフト 皆生温泉の泉質を生かし、脂肪燃焼に効果的な入浴方法の確立を進めた。

(イ) エステソフト セルフエステとして、皆生温泉源泉水配合のマッサージソープの開発を進めた。

(ウ) 健康食ソフト 地場産品を使用し、中カロリー程度の健康食の開発を進めた。

エ 緑と花いっぱい運動

とっとり花回廊の協力を得て、米子市観光センター周辺花壇の植栽を継続した。

オ 歴史・文化の創造

観光センター内に開設した「皆生温泉素鳳ふるさと館」で山陰歴史観所蔵の古代雛の常設展示や地元の手芸作家などの作品の企画展示を行い、皆生温泉の新しい観光スポットとして活用した。

平成18年度入館者数 3,862人

カ ちびっ子広場の実施

夏休み期間中、海水浴場特設会場で、毎夜、ちびっ子向けイベント広場を開催し、ミニ花火大会、大抽選会などを実施した。

開催期間 7月20日～8月20日 毎日午後8時～9時 参加人数 6,094人

キ イベントのための交通整備

(ア) 皆生温泉と境港を結ぶ「鬼太郎バス」を運行し、JRや飛行機利用の宿泊客の利便を図った。

運行期間 1月7日～3月19日の間 日曜日・月曜日運行 利用者数 503人

(イ) 岡山～皆生温泉直通「カニバス」の運行

運行期間 1月4日～3月11日の間 毎日運行 利用者数 980人

ク 散策コースの活用

皆生温泉街の活性化のために空き店舗を活用し、新たな賑わい創出を行った。

店舗名 なつかし空間うりずん オープン 7月31日

(10) 広域観光の推進

ア 国立公園「大山」を望む8の市町村で「大山山麓観光推進協議会」を設置し、広域的な観光振興策を推進するため、大山山麓エリアにおける優良な周遊滞在型観光地の形成を図ることを目的に、官民連携して各種事業を実施した。

構成市町村 米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、江府町、琴浦町

実施事業

- ・「大山王国」ホームページの維持管理
- ・「大山王国」建国イベント及び各種音楽コンサートの支援
- ・旅行代理店と共同して滞在型企画商品の販売
- ・地元で開催される各種イベントへの積極的参加
- ・2ヶ月毎にイベントカレンダーを作成して観光施設等に配布
- ・エコツーリズムの推進に取り組むためセミナーへの参加や「大山中海エコツーリズムサミット皆生大会」開催に参画した。

イ 「中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会」

山陰の観光振興を推進するため、鳥取県と島根県の行政、経済団体、観光協会及びNPO等が連携、協働して圏域全体の事業を実施する。

平成17年から、「中海・宍道湖・大山」圏域の行政、経済団体、観光協会、NPO法人及び民間企業などが県境を越えた連携の必要性を認識し、4委員会で活動している。

(ア) 圏域観光MAPの作成・配付、既存の情報の集約・統一化のための圏域観光ポータルサイトの運営

・18年3月、19年3月「山陰遊悠絵図」発行

(イ) 中海・宍道湖を活用した水上遊覧の実現

・18年10月 1ヶ月間の試験運航

(ウ) 温泉地・美術館のネットワーク化による滞留型観光の実現

(エ) 観光ルートの設定及び体験型観光メニューの発掘

ウ 大山・中海圏域のエコツーリズムの推進

(ア) 趣旨

鳥取県西部及び島根県東部を中心とする「大山中海地域」は、国立公園「大山・隠岐」やラムサール条約登録湿地「中海・宍道湖」をはじめ、全国有数の風光明媚な山・海・湖・温泉といった非日常空間と日常生活に不可欠な都市機能とがバランスよく凝縮された地域である。

また、古代遺跡、出雲神話とこの地域独自の神社などに代表されるように、悠久の時間を経た歴史・文化遺産の宝庫であり、これらは今も地域住民の生活文化の中に息づいている。

しかしながら、これら第一級の地域資源の多くは、未だに埋もれたままで、観光素材としては十分に活用されていない。そこで、こうした現状を打破し、当地域の持ち味を活かした「新たな観光魅力づくり」と、環境保全と経済活動を両立させた「持続可能な観光地づくり」を実現するため、人と地域の連携を深め、当地域ならではのエコツーリズムを構築・推進していくこととした。

(イ) 大山中海エコツーリズムサミット皆生大会

平成19年3月11日 開催

皆生グランドホテル天水

意義・目的

a 大山中海地域でエコツーリズムを推進しようとする地元関係者の決起集会

b 大山中海地域がエコツーリズムの西日本のメッカとなることを全国にアピール

～大山中海エコツーリズム宣言「皆生宣言」の採択～

サミットの開催地として選定した皆生温泉は大山中海地域の中心にあり、今後、エコツーリズムの推進及びエコツアーの基地として活用することが想定され、サミットに引き続き、第1回のエコツアーガイド養成講習会を開催した。

<主催者：大山中海エコツーリズムサミット実行委員会の構成団体>

・山陰中央リゾート協議会（蒜山～隠岐までの6市町の観光協会で組織）

・皆生温泉旅館組合

・NPO法人大山中海観光推進機構

・NPO法人皆生ライフセービングクラブ

・大山山麓観光推進協議会（大山周辺8市町村の行政体で組織）

2 観光資源の開発

(1) 観光施設の整備及び管理

ア 財団法人中海水鳥国際交流基金財団の自主事業運営支援業務

(ア) 県と協調して設立した財団法人中海水鳥国際交流基金財団の行う次の事業に関して積極的に支援した。

(1) 国際交流に関する事業

○国際交流学会等の開催、招聘に向けた情報収集活動

・KODOMOラムサール会議近畿・中国大会を11月18日・19日に開催

韓国から子ども2人を招聘

・国際湿地連合会合・鳥取県ミュージアムネットワーク・とっとり環境ネットワークへの参加協力

・開園10周年・ラムサール登録記念映像を米子市内の小・中学校及び鳥取県西部地区の養護学校に配布(200枚)

・国際的飛来地ネットワークに関わる業務

(2) 野生鳥類等の調査研究に関する事業

○野生鳥類等に関する知識及び技術取得活動

・日本鳥類学会(岩手県盛岡市) 開催日 平成18年9月16日～19日

・日本生態学会(愛媛県松山市) 開催日 平成19年3月18日～20日

○野生鳥類等の調査研究活動

・中海周辺のコハクチョウの分布調査(冬期毎月1回実施)

・水鳥公園の鳥類モニタリング調査(定期的に個体数と種類を調査)

・水鳥公園内の植物、昆虫等の調査(通年)

・標識調査への協力(通年)

・鳥インフルエンザ調査の協力

(3) 自然環境等の普及啓発に関する事業

・米子水鳥公園自然観察会の開催(年間12企画12回開催:延べ205人)

・手作り自然教室の開催(年間9企画19回開催:延べ367人)

・子どもラムサールクラブの開催(年間6回開催:延べ315人)

・夏休み企画(年間3企画6回:延べ参加者131人)

夏休み親子ふれあい講座(2回)

夏休み子ども連続講座(3日連続)

夏休み子ども自然講座(1回)

・コハクチョウ初飛来日当てクイズ2006(応募総数334人)

・彦名、水鳥公園ふれあいウォーキング大会(11月開催:参加者403人)

・巣箱コンクールの実施

・バードカービング教室の共催(毎月2回開催:延べ359人)

(4) ボランティア活動

・野鳥解説ボランティア(水鳥公園友の会:延べ257人)

・館内活動、調査、環境管理、会議等(水鳥公園友の会:延べ206人)

・企業、団体、学校等によるボランティア活動(延べ1,031人)

(5) 展示

・スローブ展示 ラムサール条約啓発展示(4月～2月)

フェザーカービング展(9～12月)

・展示室 常設展(剥製標本、バードカービング、解説パネル)

・展示ホール バードカービング米子作品展(11月)

イ 米子水鳥公園の施設管理運営業務

(ア) 米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンターの施設管理については、平成18年度より施設を適切に管理するため指定管理者制度を導入した。

市民と自然とのふれあいの場及び市民の環境学習の場の提供を目的として平成7年10月22日から供用開始。財団法人中海水鳥国際交流基金財団に施設の管理運営業務を委託し、利用者の応接に関する業務を行うとともに、財団の本来業務の普及啓発事業の一つである一般市民を対象とした自然観察会や自然教室、夏休みを利用した子供講座などの各種事業を実施するほか、水鳥の絵と作文コンクールなどの事業を実施して観光客及び市民の幅広い利用を図った。

また、平成17年3月から中学生以下の入館料を無料とし、環境保護活動や自然教育の場として活用しやすい施設としている。平成17年11月には水鳥公園を含む中海、宍道湖がラムサール条約の登録湿地に指定されたことにより、登録湿地の拠点施設として環境保護活動にさらに力を入れている。

入館者については、水鳥公園をめぐりにしているコハクチョウの数が減少していることもあり、前年度より1,354人減少した。

(イ) 米子水鳥公園・米子水鳥公園ネイチャーセンター施設管理委託先

指定管理者 財団法人中海水鳥国際交流基金財団

指定管理料 33,945,000円

(ネイチャーセンター入館者実績)

(人)

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人 数	981	1,565	958	622	921	1,273	
月 別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
人 数	2,053	3,728	3,408	4,939	3,055	2,019	25,522

(ウ) 財団法人中海水鳥国際交流基金財団と共催して鳥に関するコンクール事業を実施した。

○米子水鳥公園絵と作文コンクール及び作品展

平成19年2月1日～平成19年2月28日

応募数 110点

展示場所 米子水鳥公園ネイチャーセンター

(エ) 米子水鳥公園の素晴らしさを知っていただくため、出張展示を実施した。

・NHK米子放送局「水鳥公園で生まれた木鳥たちⅡ」

5月26日～31日

・皆生温泉素鳳ふるさと館「水鳥の街・米子へようこそ！」

11月15日～1月8日

(オ) 米子水鳥公園内の水質検査を実施した。

・調査項目 全窒素、容存酸素等9項目

・調査回数 年3回

・調査箇所 つばさ池ほか3地点

ウ 観光利便施設

(ア) 米子市観光案内板、市内主要観光地の公衆便所等の維持管理を行った。

(1) 米子市観光案内板 市内25か所

11箇所の案内看板の改修等を実施 1,922,550円

(2) 主要観光地公衆便所 市内6か所

エ 米子市観光センターの管理運営業務

(ア) 山陰観光の拠点として、昭和58年4月15日から利用開始。平成18年度から指定管理者制度を導入し、引続き皆生温泉旅館組合に管理運営業務を委託した。皆生温泉の観光案内、旅館の斡旋、各種集会室の使用許可、バス発着場など観光客及び地域住民の幅広い利用を図った。

[年間利用状況(テナント、広告看板、バス停利用を除く)]

区分	管区案内	多目的 ホール	会議室	料理 研修会	和室	第1展示 ホール	第2展示 ホール	部屋利用 合計
件数	9,753件	789件	524件	32件	231件	0件	365件	1,941件
人員	26,872人	17,600人	5,070人	370人	2,060人	0人	5,650人	30,750人

(イ) 米子市観光センター指定管理委託先 皆生温泉旅館組合
指定管理委託料 2,545,000円

オ 米子市観光センター改修工事

昭和57年度建築の建物で、老朽化が進んでいるが適切な時期を見て改修工事を行っている。今回未改修部分の2階会議室の空調設備と、老朽化により利用が少ない2階の第1展示ホールの改修工事を行った。

(ア) 2階会議室空調設備改修工事 1,260,000円

(イ) 2階第1展示ホール改修 2,244,480円

カ 米子市淀江温浴施設管理業務

白鳳の里の隣接地に米子市淀江温浴施設(淀江ゆめ温泉)が平成12年8月4日開館。源泉を所有する株式会社白鳳に施設の管理運営を委託している。平成18年度より指定管理者制度を導入した。入浴料の他、株式会社白鳳の自主事業の努力により収支は安定しており、米子市より指定管理料は支出していない。

・年間入湯客数 139,261人

キ 米子市伯耆古代の丘公園管理業務

(ア) 淀江町の向山古墳群に隣接した場所に観光施設の拠点として平成7年4月22日開園。平成18年度より施設管理を適正に行うため指定管理制度を導入し、株式会社白鳳に施設の管理運営業務を委託した。施設利用者の応接に関する業務を行うとともに、古代ハスや四季折々の花の育成展示、市民や児童向けに押し花、勾玉の作成、火おこし体験、埴輪の作成など古代の生活様式を体験することにより、より多くの市民、観光客に親しまれるよう各種の自主事業を実施している。

(イ) 米子市伯耆古代の丘公園指定管理委託先 株式会社白鳳
指定管理委託料 19,000,000円

(米子市伯耆古代の丘公園入園者実績)

(人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	654	1,580	1,067	3,438	1,860	914	
月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1,618	938	145	165	388	409	13,176

・各種体験延べ人数 3,205人

ク 伯耆古代の丘公園整備工事

古代ハスの園の周遊路は舗装路ではないため車椅子や体の不自由な方の散策が困難なため簡易舗装にすることによりバリアフリー化を図った。

・ハス池周遊路簡易舗装工事 3,675,000円

ケ 米子コンベンションセンター管理運営業務

(ア) 米子コンベンションセンター（米子国際会議場を含む）を鳥取県と米子市が共同で管理運営を行い、利用者への応接や利便性の向上に努めた。

(イ) 米子国際会議場指定管理委託先 (財)とっとりコンベンションビューロー
指定管理委託料 120,135,000円

[米子国際会議場利用状況]

催し 物件 数	集 会			展 示 会			音楽・芸能	その他	計
	大会式典	講演会 説明会	会 議	その他	展示会 見本市	その他			
	20	57	11	2	12	0	2	6	110

利用日数 203日 稼働率 59.4%

(ウ) 米子駅前簡易駐車場の管理

平成18年5月から55区画の定期有料化及び3区画の大型区画の有料化を実施した。

(2) 金融対策

ア 米子市観光開発促進資金

市内において観光開発促進事業を行おうとする法人が必要とする資金の確保に協力し、本市の観光振興を図ることを目的として、県及び金融機関の協調を得て融資した。

・融資実績

区 分	融 資 件 数	融 資 額	米子市預託額
新 規 分	0件	0円	0円
継 続 分	2件	185,878,405円	29,144,000円